

平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」の推進状況に関する調査結果

第3章 食育・健康づくりにおける具体的施策
第2節 生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活 **施策の方向性：「食に対する理解を深め、適切な量と質の食事をとり、健康的な食生活を身に付ける。」**

評価基準 A 事業を実施し、施策の方向性の成果が十分得られた。 B 事業を実施し、施策の方向性の成果が概ね得られた。 C 事業を実施したが、施策の方向性の成果までは得られなかった。 D 事業を実施したが、施策の方向性の成果が得られず課題が多い。 E 事業を実施していない。	○ 29年度より成果が得られた。 ▽ 29年度より成果が得られなかった。
---	---

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
離乳食教室【再掲】	5か月から8か月頃の乳児と保護者を対象に、試食や調理実習を通して離乳食の進め方を学ぶ教室を実施します。	離乳食対象時期の乳児と保護者を対象に、栄養士による離乳食教室を実施。 【1回食(生後5～6か月)】12回実施 120人参加 【2回食(生後7～8か月)】8回実施 68人参加	B	引き続き、栄養士による離乳食教室を実施し、内容の充実に努める。 【1回食(生後5～6か月)】12回実施 各回定員15人 【2回食(生後7～8か月)】8回実施 各回定員10人	離乳食対象時期の乳児と保護者を対象に、栄養士による離乳食教室を実施。 1回食(生後5～6か月)12回実施 110名参加 2回食(生後7～8か月)8回実施 60名参加	B	引き続き栄養士による離乳食教室を実施し、内容の充実に努める。 1回食(生後5～6か月)12回実施 各回定員15名 2回食(生後7～8か月)10回実施 各回定員10名		健康推進課
子どもの栄養と歯科相談【再掲】	乳幼児の保護者を対象に食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施します。	食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施。 実施回数 12回 身体計測 361人 歯科相談 66人 栄養相談 64人 その他 8人	B	引き続き、食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施。 実施回数 12回	乳幼児の保護者を対象に個別相談を実施し、必要な情報を提供。 ・12回実施 ・栄養相談人数90名	B	廃止の予定		健康推進課
健康相談・栄養相談【再掲】	適切な健康づくりができるよう、個別の相談に応じ、家庭における健康づくりの支援を図ります。	成人の方を対象に、健康や栄養に関することについて、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回 健康相談 17人 栄養相談 10人	C	引き続き、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回	成人を対象に個別相談を実施。 実施回数 4回 (健康相談 延べ10人) (栄養相談 延べ5人)	C	廃止。骨密度相談時や電話相談などで対応。		健康推進課
輝く高齢者介護予防講座	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上及び認知症機能低下の予防の取組を通して、閉じこもり予防及び仲間づくりへつなげます。	高齢者を対象に運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等の多目的講座を開催することにより、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 実施回数 延べ15回 実施人数 延べ268人	A	引き続き、高齢者を対象に運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等の多目的講座を開催することにより、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 実施回数 延べ16回程度を予定 実施人数 1講座当たり定員24人	高齢者を対象に運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等の多目的講座を開催することにより、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 実施回数 延べ15回 実施人数 延べ281人	A	引き続き、高齢者を対象に運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等の多目的講座を開催することにより、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 実施回数 延べ15回を予定 実施人数 1講座当たり定員24人		高齢福祉課
ヘルシーSlim教室・骨粗しょう症予防教室【再掲】	ヘルシーSlim教室、骨粗しょう症予防教室における医師の講話、保健師からの指導・助言、試食を含めた栄養士による栄養指導、歯科衛生士からの歯みがき等の実習を取り入れた歯科指導を通して、生活習慣の改善へとつなげます。	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。(平成29年度より「ヘルシーSlim教室」は「健康寿命を延ばそう教室」に変更。) 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ26人 【骨粗しょう症予防教室】1回実施 28人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実に努める。 【健康寿命延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ21人 【骨粗しょう症予防教室】2回実施 延べ54人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実に努める。 【健康寿命延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回		健康推進課
広報紙等による食の大切さのPR	広報紙等を活用し、食生活や生活リズムの大切さを伝え、健康づくりの意識の高揚を図ります。また、乳幼児健康診査を通して、生活リズムの大切さを保護者へ伝えます。	広報紙に生活習慣の改善に関する記事を掲載。また、乳幼児健康診査受診の保護者を対象に生活リズムの大切さについて資料の配布と集団指導を実施。 101回実施 2,361人参加	B	引き続き、広報紙への記事の掲載や乳幼児健康診査を通して資料の配布等を実施。	広報紙に生活習慣の改善に関する記事を掲載。乳幼児健康診査受診及び各種教室等で保護者を対象に生活リズムの大切さについて資料の配布と集団指導を実施。 ・101回実施 ・2407名	B	引き続き広報紙への記事の掲載や乳幼児健康診査等を通して資料の配布等を実施する。		健康推進課
保健指導	特定健診等の受診結果に基づき、メタボリックシンドローム及びその予備群の該当者に対し、保健師や管理栄養士等による運動・食事等についての指導・助言を実施します。	無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 4人実施 積極的支援 1人実施 実施率 17.2%	C	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。	無保険者に対し、保健師等による保健指導を実施。 動機付け支援 1人実施 積極的支援 3人実施 実施率 16.7%	B	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。		健康推進課
		国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 83人実施 積極的支援 12人実施 実施率 11.6%	C	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：142人実施 積極的支援：22人実施 実施率：23.4%	B	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：141人実施 積極的支援：47人実施 実施率目標値：28.0%		保険年金課
地場産野菜の利用促進	健康寿命を延ばそう教室や骨粗しょう症予防教室にて地場産野菜の紹介とメニューの紹介を実施。 農業者の協力を得ながら、地場産食材を学校給食に積極的に取り入れるとともに、広報紙等を活用し、地場産野菜の料理法の紹介や摂取を呼び掛けます。	健康寿命を延ばそう教室や骨粗しょう症予防教室にて地場産野菜の紹介とメニューの紹介を実施。 3回実施 23人参加	B	引き続き、教室を通じ地場産野菜の利用促進につながるよう努める。	成人対象の教室にて地場産野菜の紹介とメニューの紹介を実施。 ・4回実施 ・34名参加	B	引き続き教室を通じ地場産野菜の利用促進につながるよう努める。		健康推進課
		武蔵村山市農友会「新鮮組」の協力により、学校給食に地場産食材(野菜・果物)を納入した。 納入実績：23種類 40,170.3kg とうがん、ズッキーニ、小松菜、カリフラワー、里芋、トマト、ブロッコリー、りんご、梨など	B	今年度も農友会の協力を得て、学校給食に食材を納入する。	武蔵村山市農友会「新鮮組」の協力により、学校給食に地場産食材(野菜・果物)を納入した。 納入実績：18種類 31,917.5kg ホウレン草、大根、人参、とうがん、ズッキーニ、小松菜、カリフラワー、里芋、トマト、ブロッコリー、りんごなど	B	今年度も武蔵村山市農友会「新鮮組」の協力により、学校給食に地場産食材(野菜、果実等)を納入する。		産業振興課
		平成29年度は、地場産食材の品目数を20品目から23品目に増やした。	B	食育及び農業振興の観点から、今後も農業従事者との連携を図り、地場産食材を積極的に活用していく。	平成30年度は天候不順等により、地場産食材の品目数が20品目から18品目に減少したが、引き続き農友会と協力して、より多くの地場産野菜の使用に努める。	B	食育及び農業振興の観点から、今後も農業従事者との連携を図り、地場産食材を積極的に活用していく。		学校給食課

(2) 身体活動・運動 **施策の方向性：「市民が日常生活における身体活動量を増やし、楽しみながら運動を継続する。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
ウォーキングマップの作成	健康づくりの視点を取り入れた楽しみながら歩けるウォーキングマップを作成します。	市の資源を活用したウォーキングマップを作成し、配布することにより、市民が生活の中に運動を取り入れ、継続できるよう働きかけを行った。 全体版・詳細版 各35,000部作成	B	引き続き市内各所でウォーキングマップを配付するとともに、ウォーキング教室を開催し、市民の身体活動量の増加や、ウォーキングを通じての地域コミュニティの活性化に努める。 ウォーキング教室 3回実施	市内各所でウォーキングマップを配付するとともに、ウォーキング教室を開催し、市民が生活の中に運動を取り入れ、継続できるよう働きかけを行った。 ・ウォーキング教室 3回実施	B	引き続き、市内各所でウォーキングマップを配付するとともに、ウォーキング教室を開催し、市民の身体活動量の増加に努める。 ・ウォーキング教室 2回実施		健康推進課
ヘルシーSlim教室・骨粗しょう症予防教室【再掲】	ヘルシーSlim教室、骨粗しょう症予防教室における医師の講話、保健師からの指導・助言、試食を含めた栄養士による栄養指導、歯科衛生士からの歯みがき等の実習を取り入れた歯科指導を通して、生活習慣の改善へとつなげます。	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。(平成29年度より「ヘルシーSlim教室」は「健康寿命を延ばそう教室」に変更。) 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ26人 【骨粗しょう症予防教室】1回実施 28人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実に努める。 【健康寿命延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回	成人を対象とした健康教室(健康寿命をのばそう教室(旧・ヘルシーSlim教室))、骨粗しょう症予防教室を実施。 栄養士による生活習慣病予防につながる食事について講話と試食の提供を実施。 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ21人 【骨粗しょう症予防教室】2回実施 延べ54人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実に努める。 【健康寿命延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回		健康推進課
ヨガ体操教室・ピラティス教室	適度な運動やストレッチで体をほぐすなど、柔軟性や筋持久力を向上させます。	成人の方を対象に、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施。 6回実施 延べ101人参加	B	引き続き、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施し、内容の充実に努める。 6回実施	成人を対象とした健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施。 6回実施 延べ68人参加	B	引き続き、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施し、内容の充実に努める。 ・6回実施		健康推進課
フットケア教室	足爪の手入れ方法や足いきいき体操を学び、健康を元元から支える技術を習得します。	成人の方を対象に、フットケア専門家による健康教室(フットケア教室)を実施。 4回実施 延べ24人参加	B	引き続き、健康教室(フットケア教室)を実施し、内容の充実に努める。 2回実施	成人を対象とした健康教室(フットケア教室)を実施。 2回実施 延べ16人参加	B	引き続き、健康教室(フットケア教室)を実施し、内容の充実に努める。 2回実施		健康推進課
健康運動教室	運動習慣のきっかけづくりとして、日常生活で取り入れられるエクササイズを実施します。	成人の方を対象に、運動指導員による健康教室(健康づくり生き生き運動塾(旧・健康運動教室))を実施。 4回実施 延べ23人参加	B	引き続き、健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施し、内容の充実に努める。 2回実施	成人を対象とした健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施。 2回実施 延べ9人参加	B	引き続き、健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施し、内容の充実に努める。 2回実施		健康推進課

ステップアップ教室	総合体育館において、高校生以上を対象にしたヨガやフラダンス、ピラティス等のフィットネスのほか、バドミントン、卓球等の少人数制の教室を実施します。また、子どもを対象にしたダンス等の教室も実施します。	【自由参加教室（9事業）】 実施回数 326回、延べ参加人数 17,124人 【ステップアップ教室（46事業）】 実施回数 1,637回、延べ参加人数 13,622人 【イベント事業（6事業）】 実施回数 39回、延べ参加人数 1,527人	B	引き続き、高校生以上を対象にしたステップアップ教室を実施し、内容の充実努める。	自由参加教室（7事業） 実施回数 287回、延べ参加人数 15,138人 ステップアップ教室（46事業） 実施回数1,573回、延べ参加人数 11,465人 イベント事業（8事業） 実施回数 53回、延べ参加人数 1,669人	B	ステップアップ教室等の中で、小学生向け教室及び高校生以上向け教室を引き続き実施し、内容の見直し・充実に努めていく。	スポーツ振興課
かたくりの湯のプールを活用した教室	水中ウォーキングやスイムレッスン等、市民の健康増進につながる教室等を実施します。	平成29年4月から約1年間、温泉施設の大規模改修工事により休館したため未実施。	E	指定管理者制度による民間活力を活用し、市民の健康増進と福利厚生を図るイベントを開催する。	【多目的ルームプログラム】 教室数：延べ97教室 参加人数：延べ1,276人 【プールプログラム】 教室数：延べ73教室 参加人数：延べ1,605人	ⓑ	【多目的ルームプログラム】 やさしいヨガ教室ほか8教室 【プールプログラム】 アクアビクス教室ほか6教室	観光課
介護予防健康太極拳教室・膝痛予防教室	心身のバランス感覚を養い、転倒防止につなげるとともに、膝の痛みを軽減させる運動方法を習得させます。	心身機能の改善等を通じて、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 【介護予防健康太極拳教室】 実施回数 週1回5か月間を1クールとし、2クール 実施回数 延べ40回 実施人数 延べ366人 【膝痛予防教室】 実施回数 延べ36回 実施人数 延べ412人	A	引き続き、心身機能の改善等を通じて、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 【介護予防健康太極拳教室】 実施回数 週1回5か月間を1クールとし、2クール 実施回数 延べ40回 実施人数 延べ366人 【膝痛予防教室】 実施回数 週1回18回程度を1クールとし、2クール 実施回数 延べ36回 実施人数 延べ412人	心身機能の改善等を通じて、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 【介護予防健康太極拳教室】 実施回数 延べ40回 実施人数 延べ366人 【膝痛予防教室】 実施回数 延べ36回 実施人数 延べ412人	A	引き続き、心身機能の改善等を通じて、人と人との交流、個々の生きがいや自己実現への取組を支援し、将来的に要介護状態等となることの予防につなげる。 【介護予防健康太極拳教室】 実施回数 週1回5か月間を1クールとし、2クール 実施回数 延べ40回 実施人数 延べ366人 【膝痛予防教室】 実施回数 週1回18回程度を1クールとし、2クール 実施回数 延べ36回 実施人数 延べ412人	高齢福祉課
健康相談・栄養相談【再掲】	適切な健康づくりができるよう、個別の相談に応じ、家庭における健康づくりの支援を図ります。	成人の方を対象に、健康や栄養に関することについて、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回 健康相談 17人 栄養相談 10人	C	引き続き、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回	成人を対象に個別相談を実施。 実施回数 4回 (健康相談 延べ10人) (栄養相談 延べ5人)	C	廃止。骨密度相談時や電話相談などで対応。	健康推進課

(3) 健康管理 **施策の方向性：「定期的に特定健診等を受診し、自身の健康状態を把握し、正しい生活習慣を身に付ける。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
特定健康診査・後期高齢者健康診査・無保険者健康診査	40歳以上の国民健康保険及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者並びに無保険者を対象に、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの予防・改善等を目的とする特定健診等を推進します。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 319人(受診率23.9%)	B	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 332人(受診率24.4%)	B	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：5,818人(受診率44.5%) 健康診査受診者：4,792人(受診率58.5%)		健康推進課
保健指導【再掲】	特定健診等の受診結果に基づき、メタボリックシンドローム及びその予備群の該当者に対し、保健師や管理栄養士等による運動・食事等についての指導・助言を実施します。	無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 4人実施 積極的支援 1人実施 実施率 17.2%	C	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。	無保険者に対し、保健師等による保健指導を実施。 動機付け支援 1人実施 積極的支援 3人実施 実施率 16.7%	ⓑ	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。		健康推進課
		国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 83人実施 積極的支援 12人実施 実施率 11.6%	C	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：142人実施 積極的支援：22人実施 実施率：23.4%	ⓑ	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：141人実施 積極的支援：47人実施 実施率目標値：28.0%		保険年金課
糖尿病等重症化予防保健指導(注)	糖尿病患者の未治療者に焦点をあて、対象者本人が病態について理解をし、定期的な通院行動に移行するための受診勧奨を行い、その後も6か月間の継続的な支援を行います。	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者 7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者(計画人員) 10人	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名：糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：10人		保険年金課
健康相談・栄養相談【再掲】	適切な健康づくりができるよう、個別の相談に応じ、家庭における健康づくりの支援を図ります。	成人の方を対象に、健康や栄養に関することについて、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回 健康相談 17人 栄養相談 10人	C	引き続き、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回	成人を対象に個別相談を実施。 実施回数 4回 (健康相談 延べ10人) (栄養相談 延べ5人)	C	廃止。骨密度相談時や電話相談などで対応。		健康推進課
妊産婦・新生児訪問、こどもには赤ちゃん事業	保健師、助産師等が訪問し、妊産婦の健康状態、新生児の発育・疾病予防等について指導・助言を行います。	専門職による家庭訪問で妊産婦、新生児等の健康状態を確認し、指導、助言を行った。 家庭訪問数 462件 訪問率 89.9%	B	引き続き全戸訪問(100%)を目指す。	専門職による家庭訪問で妊産婦、新生児等の健康状態を確認し、指導、助言を行った。 家庭訪問数 462件 訪問率 91.7%	B	引き続き全戸訪問(100%)を目指す。		健康推進課
がん予防に関する知識の普及・啓発	広報紙やホームページのほか、村山デグラまつり等において、がん予防に関する正しい知識の普及・啓発をします。	広報紙やホームページのほか、村山デグラまつり、各種検診会場、市内のイベント等において、普及、啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	B	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、村山デグラまつり、各種検診会場、市内の各所においてがん予防に関する知識の普及、啓発活動を実施する。	広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内のイベント等において、普及、啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	B	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内の各所においてがん予防に関する知識の普及、啓発活動を実施する。		健康推進課
各種がん検診の実施	疾病の予防や早期発見を図るため、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び前立腺がん検診を実施します。また、受診機会の充実を図るため、がん検診が受診しやすい体制づくりを研究します。	各種がん検診を実施し、市民の健康管理に努めた。 受診者数 ・胃がん検診 1,280人(受診率 5.4%) ・肺がん検診 1,448人(受診率 5.4%) ・大腸がん検診 2,001人(受診率 6.6%) ・子宮がん検診 809人(受診率 9.1%) ・乳がん検診 1,065人(受診率 16.3%) ・前立腺がん検診 381人(受診率 2.6%)	B	引き続き、健康増進法に基づくがん検診を実施し、市民の健康管理に努める。	各種がん検診を実施し、市民の健康管理に努めた。 受診者数 ・胃がん検診 1,217人 ・肺がん検診 1,443人 ・大腸がん検診 1,658人 ・子宮がん検診 854人 ・乳がん検診 1,059人 ・前立腺がん検診 340人	B	引き続き、健康増進法に基づくがん検診を実施し、市民の健康管理に努める		健康推進課

(注) 糖尿病等重症化予防保健指導：本事業は武蔵村山市国民健康保険に加入されている方が対象である。

(4) 飲酒・喫煙 (COPDを含む) **施策の方向性：「市民が飲酒や喫煙・受動喫煙の影響について正しく理解し、節度ある適度な飲酒、禁煙・節煙・分煙を心掛ける。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
健康相談・栄養相談【再掲】	適切な健康づくりができるよう、個別の相談に応じ、家庭における健康づくりの支援を図ります。	成人の方を対象に、健康や栄養に関することについて、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回 健康相談 17人 栄養相談 10人	C	引き続き、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回	成人を対象に個別相談を実施。 実施回数 4回 (健康相談 延べ10人) (栄養相談 延べ5人)	C	廃止。骨密度相談時や電話相談などで対応。		健康推進課
多量飲酒・喫煙・受動喫煙の健康影響についての正しい知識の普及・啓発	広報紙、ホームページのほか、各種がん検診や健康教室等において、過度の飲酒や喫煙、受動喫煙が健康に与える影響について知識の普及を図ります。	広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内のイベント等において、普及、啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	C	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内の各所において正しい知識の普及、啓発活動を実施する。	広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内のイベント等において、普及、啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	C	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内の各所において正しい知識の普及、啓発活動を実施する。		健康推進課

(5) 歯と口 施策の方向性：「**歯と口の健康が全身の健康に関わっていることを理解し、定期的に歯科健診を受診するとともに、毎日の口腔ケアに取り組む。**」

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
ヘルシーリズム教室・骨粗しょう症予防教室【再掲】	ヘルシーリズム教室、骨粗しょう症予防教室における医師の講話、保健師からの指導・助言、試食を含めた栄養士による栄養指導、歯科衛生士からの歯みがき等の実習を取り入れた歯科指導を通して、生活習慣の改善へつなげます。	各種健康教室の場を通して、健口体操や歯みがき指導を行うことで、歯や口の健康の大切さについて伝えた。健康長寿を延ばそう教室 2回実施 延べ 26人 骨粗しょう症予防教室 1回実施 延べ 28人 出前講座 5回実施 87人	B	引き続き、各種健康教室や出前講座を通して歯と口の健康について伝えていく。 健康長寿を延ばそう教室 2回 骨粗しょう症予防教室 2回 出前講座 2回	各種健康教室の場を通して、健口体操や歯みがき指導を行うことで、歯や口の健康の大切さについて伝えた。健康長寿を延ばそう教室 2回実施 延べ 21人 骨粗しょう症予防教室 2回実施 延べ 54人 出前講座 2回実施 53人	B	引き続き、各種健康教室や出前講座を通して歯と口の健康について伝えていく。 健康長寿を延ばそう教室 2回 骨粗しょう症予防教室 2回 出前講座 2回		健康推進課
パパとママのためのマタニティクラス【再掲】	妊婦とその家族を対象に、妊娠前から授乳期までの健康管理、食事のバランスのほか、妊婦歯科健診の実施や新生児期の育児等についての講義と実習を行います。	妊婦とその家族を対象に、出産・育児、妊婦の栄養と歯と口の健康について学ぶ教室を実施。 【母親学級】 6回実施 39人参加（うち栄養の講話・試食、歯の講話・歯科健診 32人参加） 【両親学級】 3回実施 58人(29組の夫婦) 参加	B	引き続き、妊婦とその家族を対象にした教室を実施し、内容の充実をめぐる。 【母親学級】6回実施 各回定員15人 【両親学級】3回実施 各回定員10組	妊婦とその家族を対象に、出産・育児、妊婦の栄養と歯と口の健康について学ぶ教室を実施。 【母親学級】 6回実施 69人参加（うち栄養の講話・試食、歯の講話・歯科健診 34人参加） 【両親学級】 3回実施 47人(24組の夫婦) 参加	B	引き続き、妊婦とその家族を対象とした教室を実施し、内容の充実をめぐる。 【母親学級】6回実施 各回定員15人 【両親学級】3回実施 各回定員10組		健康推進課
お口の健康づくりに関する知識の普及・啓発	広報紙等において、むし歯や歯周病だけではなく、誤嚥性肺炎の予防等に関する正しい知識の普及・啓発をします。	広報紙等において、誤嚥性肺炎の予防等に関する知識の普及を図った。摂食・嚥下相談窓口について市報等に掲載。関係機関にポスター、チラシの掲示、配布。 また、歯と口の健康の大切さを伝えることを目的に「出前講座」を実施。(5回実施 87人参加)	B	引き続き広報紙等において、誤嚥性肺炎の予防等に関する知識の普及を図る。 摂食・嚥下相談窓口について市報等に掲載。関係機関にポスター、チラシの掲示、配布。	広報紙等において、誤嚥性肺炎の予防等に関する知識の普及を図った。 摂食・嚥下相談窓口について市報等に掲載。関係機関にポスター、チラシの掲示、配布	B	引き続き、広報紙等において、誤嚥性肺炎の予防等に関する知識の普及を図る。 摂食・嚥下相談窓口について市報等に掲載。関係機関にポスター、チラシの掲示、配布		健康推進課
乳幼児健診診査	3～4か月児、1歳6か月児、2歳児歯科、3歳児において、疾病や発達の遅れを早期に発見し、適切な治療、支援及び療育につなげるため、乳幼児健診診査を実施します。	月齢・年齢に応じた各種健診を実施。また、集団指導の場を活用し、歯とお口の健康について指導を行った。 【3～4か月児健診】18回 477人(受診率96.0%) 【1歳6か月児健診】18回 528人(受診率94.6%) 【2歳児歯科健診】12回 473人(受診率83.0%) 【3歳児健診】18回 556人(受診率90.1%) 【乳幼児歯科健診】24回 907人(予約制)	B	引き続き受診率100%を目標に、未受診勧奨等に力を入れる。また、各種健診を通して歯と口の健康についても指導を行う。	各種健診の集団指導の場を活用し歯とお口の健康について指導を行った。 3～4か月児健診 18回 521人 1歳6か月児健診 18回 517人 2歳児歯科健診 12回 456人 3歳児健診 18回 570人 乳幼児歯科健診 24回 892人	B	引き続き、各種健診を通して歯と口の健康について指導を行う。 3～4か月児健診 18回 1歳6か月児健診 18回 2歳児歯科健診 12回 3歳児健診 18回 乳幼児歯科健診 24回		健康推進課
歯周病検診	歯を失う原因となる歯周病の早期発見のため、歯周病検診を実施します。	高齢期において、健康を維持し、食べる楽しみを享受できるように歯の喪失を予防するため、集団による歯周病検診を実施。また、乳幼児健診の保護者を対象に、成人歯科保健対策事業として毎月1回集団検診を実施。 歯周病検診(集団) 2回実施 43人 成人歯科保健対策事業(集団) 12回実施 93人	B	歯周病検診については、今年度より対象者数を400人に拡大し、歯科医療機関における個別検診にて実施。また、乳幼児健診の保護者を対象とした成人歯科保健対策事業は、引き続き集団検診にて実施。 歯周病検診(個別) 400人予定 成人歯科保健対策事業(集団) 12回実施 120人予定	高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるように、歯の喪失を予防するため歯周病検診を実施した。 歯周病検診 274人(市内指定歯科医療機関で実施) 成人歯科保健対策事業 99人	B	引き続き、高齢期における健康を維持し、歯の喪失を予防するため、歯周病検診を実施する。 計画人員 40歳以上の市民 400人 成人歯科保健対策事業 120人		健康推進課
口腔機能向上・栄養改善事業	高齢者が口の健康づくりや、低栄養の予防の重要性を知り、心身機能の向上や社会参加の促進へつながるよう講義と実習を行います。	高齢者が口腔機能の向上及び栄養改善の必要性を知ることにより、心身機能の維持向上と社会参加の促進を図った。 実施回数 延べ8回 実施人数 延べ58人	A	引き続き、高齢者が口腔機能の向上及び栄養改善の必要性を知ることにより、心身機能の維持向上と社会参加の促進を図る。 実施回数 延べ8回を予定 実施人数 1クール当たり定員16人	高齢者が口腔機能の向上及び栄養改善の必要性を知ることにより、心身機能の維持向上と社会参加の促進を図った。 実施回数 延べ8回 実施人数 延べ76人	A	引き続き、高齢者が口腔機能の向上及び栄養改善の必要性を知ることにより、心身機能の維持向上と社会参加の促進を図る。 実施回数 延べ8回を予定 実施人数 1クール当たり定員16人		高齢福祉課
歯科のイベント	村山デングラまつりにおいて、歯と口の健康の大切さを伝えることを目的に、歯みがき相談、口臭測定、むし歯菌のチェックなどを実施します。	村山デングラまつりの2日目が台風のため中止となり、未実施。	E	引き続き、歯と口の健康の大切さについて伝えていく。	歯と口の健康の大切さを伝えることを目的に、歯みがき相談、むし歯菌の検査、歯周病検診等のPR等を等実施した。 参加者 150人	B	引き続き、歯と口の健康の大切さについて伝えていく。		健康推進課
乳幼児歯科健康教室(かむかむキッズ)	10か月児から1歳6か月児の乳幼児の保護者を対象に、初期のむし歯予防を目的とした食事のポイント、おやつを試食、歯みがき等について指導・助言します。	初期のむし歯予防を目的に生活リズムの大切さを伝え、食事や歯みがき等について指導を行った。 参加者 133人	B	引き続き、初期のむし歯予防を目的に生活リズムの大切さを伝え、食事や歯みがき等について指導を行う。	初期のむし歯予防を目的に生活リズムの大切さを伝え、食事や歯みがき等について指導を行った。 参加者 133人	B	引き続き、初期のむし歯予防を目的に生活リズムの大切さを伝え、食事や歯みがき等について指導を行う。		健康推進課
乳幼児歯科健康診査(ピーパー歯科健診)	乳幼児を対象に、歯科健診や歯みがきの相談を定期的実施します。	乳幼児を対象に、歯科健診や生活リズムの大切さについて伝え、歯科保健指導等を行った。 実施回数 24回 受診者数 907人	B	引き続き、乳幼児を対象に、歯科健診や生活リズムの大切さについて伝え、歯科保健指導等を行う。	乳幼児を対象に、歯科健診や生活リズムの大切さについて伝え、歯科保健指導等を行った。 実施回数 24回 受診者数 892人	B	引き続き、乳幼児を対象に、歯科健診や生活リズムの大切さについて伝え、歯科保健指導等を行う。		健康推進課
子どもの栄養と歯科相談【再掲】	乳幼児の保護者を対象に食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施。 実施回数 12回 身体計測 361人 歯科相談 66人 栄養相談 64人 その他 8人	食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施。 実施回数 12回 身体計測 361人 歯科相談 66人 栄養相談 64人 その他 8人	B	引き続き、食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や身体計測を実施。 実施回数 12回	食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や計測を実施した。 実施回数 毎月1回 参加者数 375件 身体計測 60件 歯科相談 90件 栄養相談 24件	B	引き続き、食の安全について啓発するとともに、離乳食の進め方や歯みがき、むし歯予防等の相談や計測を実施する。 毎月1回	令和2年度以降 廃止の予定	健康推進課
予防処置	むし歯予防のため、各種健診で希望者を対象にフッ素塗布などを実施します。	むし歯予防のため、各種健診で希望者を対象にフッ素塗布を実施。 塗付人数 1,153人	B	引き続き、各種健診で希望者を対象にフッ素塗布を実施。	むし歯予防のため、各種健診で希望者を対象にフッ素塗布を実施した。 塗付人数 1,236人	B	引き続き、各種健診で希望者を対象にフッ素塗布を実施する。		健康推進課
保育所・幼稚園歯みがき指導	6歳臼歯のむし歯予防を目的に、園児を対象に講話と歯みがき指導を実施します。	歯みがき指導を希望する保育園・幼稚園に出向いて園児を対象に講話と歯みがき指導を実施した。 14園 1,334人 子育てセンター 3組 5人	B	引き続き、歯みがき指導を希望する保育園・幼稚園に出向いて園児を対象に講話と歯みがき指導を行う。	歯みがき指導を希望する保育園・幼稚園に出向いて園児を対象に講話と歯みがき指導を実施した。 14園 1,272人 子育てセンター 3組 3人	B	引き続き、歯みがき指導を希望する保育園・幼稚園に出向いて園児を対象に講話と歯みがき指導を行う。		健康推進課
学校における染め出し事業	染め出し剤を使用し、見落としやすいむし歯や歯周病の原因となるブラック(歯垢)を染め出し、磨き残しのしやすい場所を把握し、正しいブラッシング法を身に付けるため、染め出し事業を促進します。	むし歯や歯周病を予防するため、歯垢染色(染め出し)剤を使用し、正しい歯の磨き方について、歯科医師、歯科衛生士による歯科保健教育を実施。 4校(7回)実施 参加人数 493人	B	引き続き、むし歯や歯周病を予防するため、歯垢染色(染め出し)剤を使用し、正しい歯の磨き方について、歯科医師、歯科衛生士による歯科保健教育を実施。 予定回数 4校(7回)	むし歯や歯周病を予防するため、歯垢染色(染め出し)剤を使用し、正しい歯の磨き方について、歯科医師、歯科衛生士による歯科保健教育を実施。 5校(11回)実施 参加人数 927人	B	引き続き、むし歯や歯周病を予防するため、歯垢染色(染め出し)剤を使用し、正しい歯の磨き方について、歯科医師、歯科衛生士による歯科保健教育を実施。 予定回数 4校(7回)		教育総務課
学校におけるフッ化物洗口事業	フッ化物水溶液を用いてうがいをを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させて、むし歯になりにくい歯をつくるため、フッ化物洗口事業を促進します。	歯質を強化し、むし歯を予防するため、週に1回フッ化物水溶液を用いて、フッ化物洗口を実施。 4校実施 参加人数 921人	B	引き続き、歯質を強化し、むし歯を予防するため、週に1回フッ化物水溶液を用いて、フッ化物洗口を実施。 予定校数 4校	歯質を強化し、むし歯を予防するため、週に1回フッ化物水溶液を用いて、フッ化物洗口を実施。 3校実施 参加人数 737人	B	引き続き、歯質を強化し、むし歯を予防するため、週に1回フッ化物水溶液を用いて、フッ化物洗口を実施。		教育総務課